

株式型(2010年1月)

■運用概況及び運用方針

株式型では、ベンチマークである日経平均株価を中長期的に上回る運用成果の獲得を目標に運用を行っています。具体的には、時価残高の70%程度を目安に日経225型ETFを組み入れることでベンチマークとの連動性を確保し、さらに東証一部上場企業を中心とした国内株式への分散投資も行うことで、全体としてはベンチマークを上回る運用成果の獲得を目指します。

1月の株式市場は、上昇基調で始まりましたが月末にかけて下落しました。円高の一方や米国株式市場の堅調な推移を背景に、日経平均株価は一時2008年10月以来となる10,980円まで上昇しました。中旬以降は、中国の金融引締めや米国の金融規制案が発表されたため、景気回復に対する警戒感から、日経平均株価は10,198円まで下落しました。月末の日経平均株価は10,198.04円(前月末比-348.40円)、TOPIXは901.12ポイント(同-6.47ポイント)となりました。

当ファンドの運用成果は前月末比-2.83%となり、ベンチマークである日経平均株価は-3.30%、東証一部全体の値動きを示すTOPIXは-0.71%となりました。前期末との比較では、当ファンドは+27.66%、日経平均株価は+25.75%、TOPIXは+16.47%となっております。ポートフォリオの状況につきましては、主に卸売業、鉄鋼業、電気機器の各セクターをベンチマークに対してオーバーウェイトしており、医薬品、小売、食料品の各セクターをアンダーウェイトしております。今後とも、株式型時価残高の70%程度を目安に日経平均型ETFの組み入れを行い、個別株式への分散投資も行うことで、より投資効率の高いポートフォリオを構築していきたいと考えております。また、日経平均オプション等も利用することにより、総合的な収益の拡大も目指してまいります。

■ベンチマーク

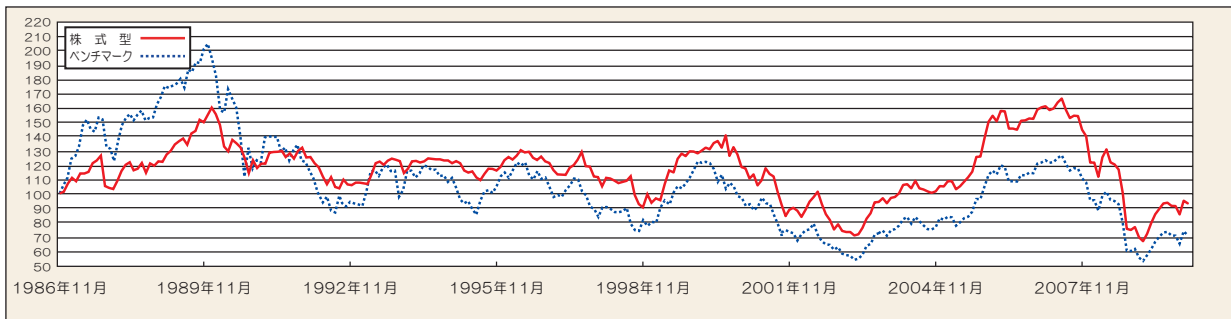
日経平均株価(©日本経済新聞社)

※日本経済新聞社が発表する、東京証券取引所第1部上場銘柄のうち代表的な225銘柄の株価水準を示す指標です。
※2003年10月1日より、ベンチマークをTOPIX(東証株価指数)から日経平均株価に変更しました。

■資産規模

57,595,773千円

■月間指数推移



※株式型の指数値は1986年11月1日を100として計算しています。
※ベンチマークについては、1986年11月1日～2003年9月30日までは、1986年11月1日におけるTOPIXを100として計算しています。
2003年10月1日以降は、2003年10月1日における日経平均株価を先述の方法で計算した同日のTOPIXと同一の指数値として計算しています。

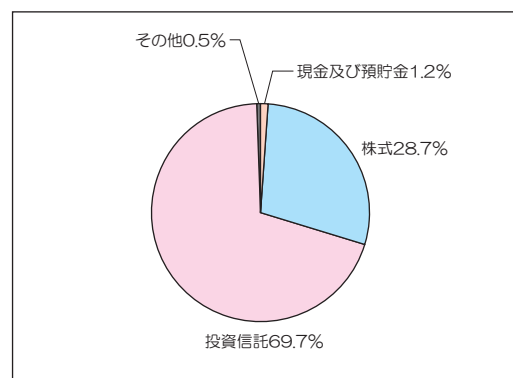
■騰落率

	6ヶ月	1年	2年	3年	設定来
騰落率	-0.2%	32.0%	-24.6%	-42.2%	-7.0%
年換算	-0.5%	32.0%	-13.1%	-16.7%	-0.3%

■主な保有銘柄

銘柄名	業種
日本電産	電気機器
ファーストリテイリング	小売業
トヨタ自動車	輸送用機器
テルモ	精密機器
キヤノン	電気機器
ファナック	電気機器
東芝	電気機器
本田技研工業	輸送用機器
キーエンス	電気機器
東日本旅客鉄道	陸運業

■株式型の資産配分



投資信託は、【日経平均型上場投資信託(ETF)】(主に野村アセットマネジメントおよび日興アセットマネジメント)を組み入れております。